

部分崩壊形の場合に耐力低減を行う

チェックオンの場合

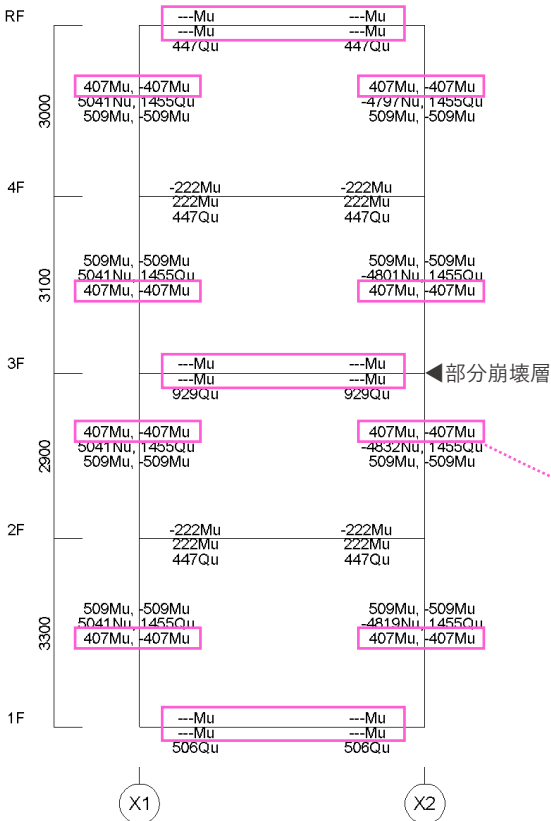
<input checked="" type="checkbox"/> 部分崩壊形の場合に耐力低減を行う*				
	内	通	外	etc
BCP	0.85	0.8	0.8	0.8
BCR	0.8	0.75	0.75	0.75
強度	1	1	1	1

11.6.5. 層耐力比

階	方向	柱耐力	梁耐力	耐力比
		Σ Mpc [kNm]	Σ min(1.5Mpb, 1.3Mpp) [kNm]	
2F	X	3694	1819	2.03
	Y	3694	1819	2.03
3F	X	3699	4033	0.92*
	Y	3699	4033	0.92*
4F	X	3702	1819	2.04
	Y	3702	1819	2.04

1 3Fが部分崩壊層と判定されました。

11.3.1. Ds算定時部材終局強度 [Ds+E0] Y1



2 計算書「11.6.5層耐力比」で部分崩壊と判定された場合、
 ・1階柱脚、最上階柱頭、部分崩壊層の柱耐力を低減します。
 ・低減の対象となる階の梁は塑性化しない処理をします。

<input checked="" type="checkbox"/> 部分崩壊形の場合に耐力低減を行う*				
	内	通	外	etc
BCP	0.85	0.8	0.8	0.8
BCR	0.8	0.75	0.75	0.75
強度	1	1	1	1

$Mu = 0.80 * Zp * \sigma y = 0.80 * 1.97 * 10^6 * 1.1 * 235 / 10^6 = 407 \text{ kNm}$

※1階柱脚の低減係数は、下記の値を採用します。

- ・露出柱脚…“通”
- ・埋め込み柱脚…“内”
- ・柱脚を入力していない場合…“etc”

※ダイアグラム形式は、「設計条件>1次設計>S」の”ダイアグラム形式”の設定によります。

参照：計算解説書「10.4.6 冷間成形角形鋼管」

部分崩壊形の場合に耐力低減を行う

チェックオフの場合

部分崩壊形の場合に耐力低減を行う*

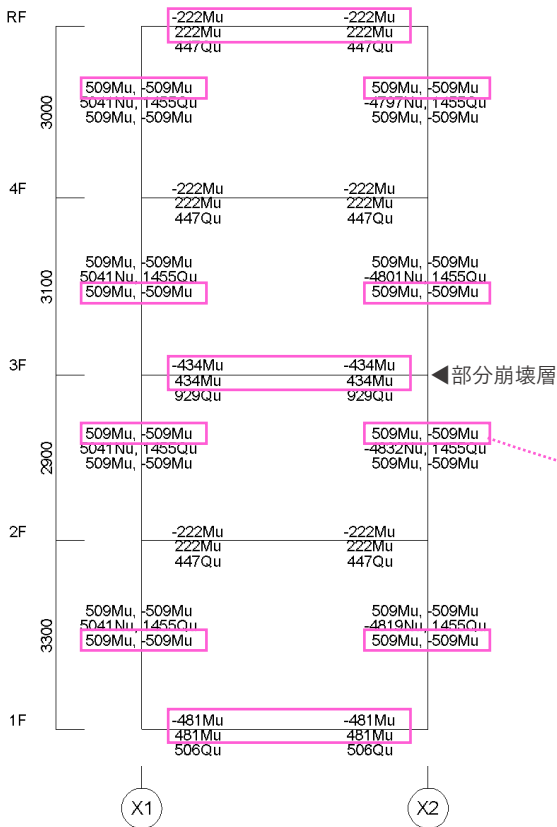
	内	通	外	etc
BCP	0.85	0.8	0.8	0.8
BCR	0.8	0.75	0.75	0.75
強度	1	1	1	1

11.6.5. 層耐力比

階	方向	柱耐力	梁耐力	耐力比
		Σ Mpc [kNm]	Σ min(1.5Mpb, 1.3Mpp) [kNm]	
2F	X	3694	1819	2.03
	Y	3694	1819	2.03
3F	X	3699	4033	0.92*
	Y	3699	4033	0.92*
4F	X	3702	1819	2.04
	Y	3702	1819	2.04

1 3Fが部分崩壊層と判定されました。

11.3.1. Ds算定時部材終局強度 [Ds+E0] Y1



2

計算書「11.6.5層耐力比」で部分崩壊と判定された場合、

- ・1階柱脚、最上階柱頭、部分崩壊層の柱耐力を低減しません。
- ・当該階について、梁が塑性化しない処理も行いません。

$M_u = Z_p \cdot \sigma_y = 1.97 \cdot 10^6 \cdot 1.1 \cdot 235 / 10^6 = 509 \text{ kNm}$

参照：計算解説書「10.4.6 冷間成形角形鋼管」